

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

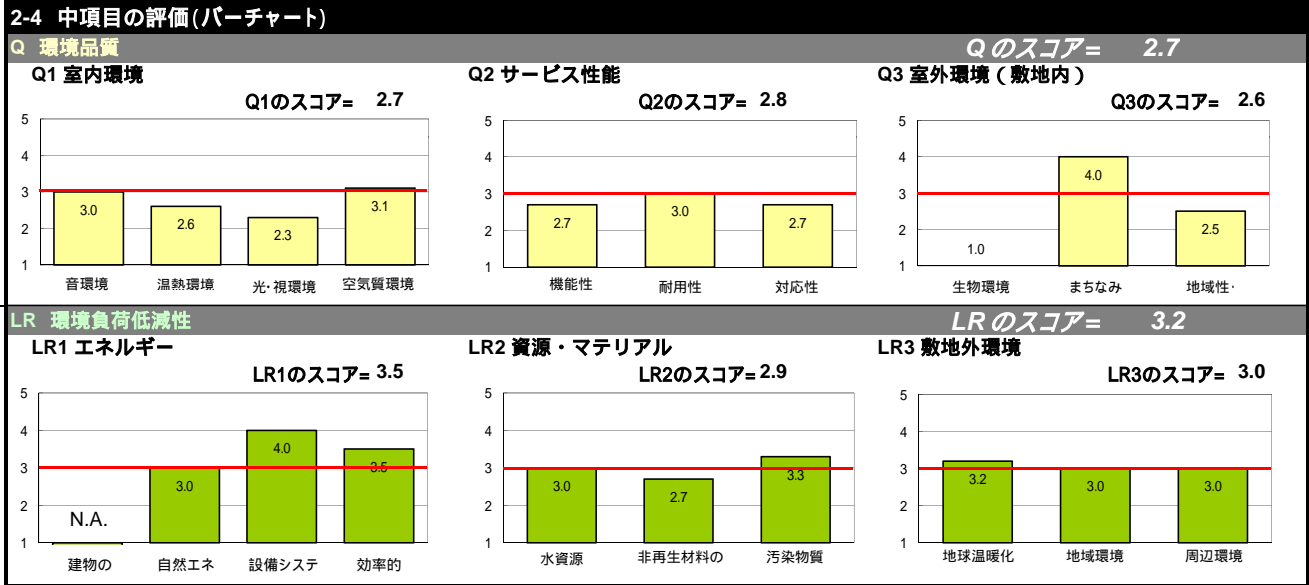
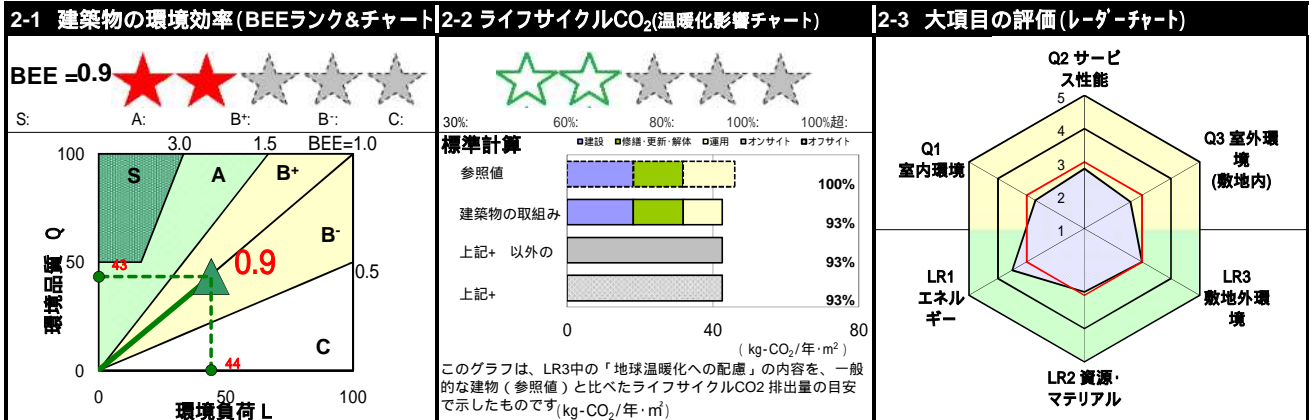
# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東リ(株)厚木事業所 縫製棟	階数	地上4F
建設地	厚木市温水2020	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	120 人
気候区分		年間使用時間	6,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年5月27日
敷地面積	2,800 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 梓設計
建築面積	1,647 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月27日
延床面積	3,670 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 梓設計

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
古くなった厚生施設、オーダーカーテン工場の改築を行う計画。施設は周辺既存施設に対し、現代の技術によって施設そのものの刷新を図るとともに、環境に対する配慮を事業化できる水準を維持しつつ行いうことが計画された。		
<b>Q1 室内環境</b> 厚生施設部分は、極力簡潔な構成により、スペースの効率的な利用を可能にするともに、工場スペースはフレキシビリティを確保する計画としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 適度なスペース性能により、機能性、快適性など利用条件の向上を図った。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 仮想空間がある周囲の敷地とともに、まちなみに対して、計画建物のすべてのボリュームが敷地内に計画しており、悪影響を与えない。
<b>LR1 エネルギー</b> 事業化できる条件の中で、より高い環境性能を発揮できるよう計画した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 現代の問題に対する対処を前提に、技術レベルの向上により高いレベルでの資源利用に考慮するとともに、利用材料について検討を行い計画した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 同一敷地内である仮想空間とその外側については一敷地として整備を行う関係で、仮想空間外へ与える影響が大きく、現代の技術でできる限りの環境改善に努め、計画している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される